

西南学院大学 図書館報

No. 4 5

1970年2月7日発行

福岡市西新町

西南学院大学図書館



ささやかな抱負

図書館長 清 田 正 喜

昨年八月、館長に就任してこのかた、ようやく半年を無事に過すことができたのは、ひとえに諸先生がたのご支援と、なかんづく図書館委員の各先生および館員諸君のご協力に負うところが大きかったと感謝している。

わたくしは、まずもって学生諸君が読書に専念する場としては、どのようにすればよいかと考えた。新築してはまだ日も浅い新館のこととて、整備も不十分であったし、図書の未整理も数千冊に及んでいて、この方も早急に解決しなければならないのは勿論であるが、とにかく気軽に来館して、落ちついて読書に研究に精進してもらうためには、環境を整えることが第一だと思った。

まず、図書館への道を舗装し、一階学習室の窓際に、なんてんの植樹を、玄関前は花壇を計画して、事務局にお願いした。これらは昨年末に完成することができた。

次に学習室と二階閲覧室の受付および教授閲覧室と館長室に、毎週、花卉（かき）をとりかえて生けることにした。

また学習室正面の壁の右がわには、現図書館の地に建っていた西南牧師館の油絵を、左がわには、故エドイン・ドージヤー前院長の筆になる西南学院発祥地の想像画をかかげ、中央正面には、いずれ華麗なる色調のものを掲げようと考えている。

今年の計画としては、玄関ロビーに直径一米余りの大地球儀を備えて、学生諸君の世界への眼をひろげたいと思っている。また現在の新聞閲覧室

を目録カード箱のところに移して、国連寄託図書館の閲覧室とし、その多くの資料によって、さらに学問的視野をひろめてもらいたいと念願している。

次に一般図書の購入方法を改善して、より早く、よりひろく、より多くの本を備えるようにしたい。それは日本図書館協会の選定する図書を逐次発注することによって学生諸君の便宜を計るつもりである。これは先日、各学部教授会においてそれぞれご承認を得たので、四月から実施するつもりでいる。

以上は抱負のほんの一端であるが、今後は大学教職員のかたがたおよび学生諸君の支援によって、大学図書館の向上に努力していくつもりである。

最後に、西南学院大学図書館としての特色を打ち出すにはどうすればよいか。例えば聖書に関する図書や資料を広汎に集めてゆくこと、また英米に関するもので、日本では得られないものなどは、外地留学の先生にお願いすること、また近年、散逸消滅しかけている近世以降の古記録類などは、断片であっても、今のうちでなければ、永久にとりかえしがつかなくなるような、西南地区関係の資料収集などに心がけたい。そして西南学院大学図書館でなければ、そういった研究ができないという貴重な資料の保存こそ、大学図書館の真の存在意義があると思っている。どうかよろしく御援助をお願いする次第である。

(文学部教授)

上手な使いわけ方／

英語の辞書

文学部 助教 助 木 下 浩 利

辞書を活用しよう



十人十色というが、辞書にもそれぞれ個性がある。机の周辺の辞書の中から読んでいる書物、引く語の性格に応じて適当な仲間を手にとって相談する、これが私の日課の一つである。

周知のごとく辞書は、語義用法の記述に専念する純粋な「ことば」の辞典と、百科事典的な説明を加えた辞典に大別される。前者の代表としては OED (古くは NED) がある。収録語数 414,825、引用例 1,327,306 という英国が世界に誇るこの 12 巻 (補遺 1 巻) の大辞典は、1150 年以後英語として用いられたすべての語を収め、その出現消滅の年代、形態意義の発達を明らかにしている。初めてこの辞書に私が親しんだのは九大の学生のころブラウニングの下調べをした時で、図書館の床の近くに置いてあるこの辞典を、何度もテーブルの上にのせたりおろしたりしているうちに、腕がだるくなったことを憶えている。この OED を 1 冊 (古くは 2 冊) に圧縮したものに SOD があり、現代英語のみを扱った COD と POD も同系のすぐれた辞典であるが慣れない人には引きにくい。もっとゆとりのある辞書に UED がある。

これらイギリスの辞書が、いずれも「ことばの辞典」であるのに対し、アメリカの辞典は百科事典的な傾向が強い。学生のころ奨学金を半年ばかり積み立てて買った WD (2 版) には、ピタゴラスの定理についても図解入りの説明があり、'gait' の項には馬のいろいろな歩み方、どの脚をどの順序で運ぶかということを表の形でまとめている。同辞典 3 版にこれらの記述が削除されているのはさびしいが、これは第 3 版では百科事典的な記述を避けて小項目主義に徹し 'one-phrase definition' を原則としたからである。言語学的には幾多の点ですぐれ、収録語数は実に 45 万といわれているが、上記の傾向には一部に反撥があり、それに応えるように現われたのが RHD

である。利用者の便宜を考えた庶民的な辞典で、巻末にはフランス語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語について合計 200 ページの辞書、64 ページの世界地図、世界の主要大学一覧などを付している。最近ふとしたことからわかったのだが、BMT という略語をのせているのはこの RHD だけであった。

先日刊行された AHD も RHD と似た傾向の辞典である。欄外の多くの図版がその一つの特徴であるが、私としてはむしろ 100 人のパネルの意見を集約した用法解説、例えば話しことばの中で 'most' を 'almost' の意味に用いることについては上記 100 人中 53% の人が、また書きことばの中では 92% の人が、これを認めないという報告などは大変参考になる。

初めて英英辞典を用いる人には ALD、イギリスの現代の作品を読むのには COD、アメリカの現代作家を読むのには NWD がいい。英語の辞書についてくわしく知りたい人は研究社の「現代英語教育講座 12」を参照されたい。

注.

AHD (The American Heritage Dictionary of the English Language); ALD (The Advanced Learner's Dictionary of Current English); COD (The Concise Oxford Dictionary of Current English); NWD (Webster's New world Dictionary of the American Language); OED (The Oxford English Dictionary); POD (The Pocket Oxford Dictionary of Current English); RHD (The Random House Dictionary of the English Language); SOD (The Shorter Oxford English Dictionary); WD (Webster's New International Dictionary of the English Language)

paper (紙) の語源がパピルス (papyrus) であることはよく知られています。大昔の書物は、このパピルスや、羊皮紙 (parchment) あるいは粘土板 (clay tablets) に文字をしるしたのでした。古代文明の発祥地であるメソポタミアでは、川からとれる粘土に文字を刻んで乾かし、世界で最も古いといわれる書物を作ったのですが、なにしろ材料が粘土ですから、読むのにも不便ですし、持ち運びにはたいへんな手間を要したことが想像されます。それでも、現在の紙のように燃えることがないので、保存にはぐあいがよかったです。

19世紀になって発掘されたニップルの図書館やニネヴェの図書館は、いずれも世界最古の図書館とされていますが、廃墟の中から多数の粘土板が発見されて、多くの史実を明らかにしてくれたのです。わたくしたちも、後世に史実を伝えんとすれば、粘土板に記しておくのが良策かもしれません。

ニネヴェの図書館は、アッシリアのアッスルバニパル王 (668—626B. C.) が建てたもので、力を背景にアッシリアとバビロニアの文明諸国の文献を片端から収集し、しかもそれらを主題によって分類配列し、それぞれの位置を示す刻印を打ち、さらにその利用を容易にするための目録さえ作っていました。これが今から2600年も前の話ですから驚くではありませんか。現在わたくしたちがやっている図書館の仕事とほとんど大差ないことが、そのころすでに行なわれていたとすると、昔から人間はあまり進歩していないんじゃないかという気さえします。

パピルスというのは、ナイル河の流域に生えていた草

の名です。エジプトでは、この草の茎をつなぎ合わせて巻物にし、書物としたのです。ギリシャ・ローマ時代を通じて、パピルスは最も一般的な書物でしたが、このパピルス時代を代表する最大の図書館が、アレクサンドリヤ図書館でした。エジプト王プトレマイオス一世がこの図書館に集めたパピルス蔵書は、実に70万巻といわれています。それだけではありません。原本の写しを作ったり、また訳本を作ったりもしました。図書の分類・目録作成がなされていたことはいうまでもありません。この

大図書館は、紀元前47年、シーザーがアレクサンドリアを攻撃したときに破壊され、残念ながら、この莫大なパピルスは地球上から姿を消してしまいました。

パピルスにとって代る書物は羊皮紙です。読んで字

のごとく、羊の皮から作ったものですが、この羊皮紙本を集めたのが、ペルガモン図書館でした。ペルガモンの王エウメネス二世 (197—158B. C.) は、プトレマイオス王との仲たがいのために、自国にパピルスが輸入できなくなり、困ったあげく考え出したのが羊皮紙です。羊皮紙は、強靱で耐久力があり、またパピルスのように破れることがないので、書物としてたいへんすぐれており、紀元後4世紀頃には完全にパピルスを圧倒してしまいました。ペルガモン図書館は、その後ローマ人の手中に帰し、將軍アントニオがその蔵書20万冊をエジプトの女王クレオパトラに贈ることによってその幕を閉じたのです。こうしてみると、当時の図書館というのは、何よりも国王の権力と偉容を誇示する有力な手段であったといえるでしょう。

司書長 山下和夫

世界最古の 図書館

■ 主要バックナンバー受入案内

Journal of Business	Vol. 1 (1928) - 36 (1963)
The Times Literary Supplement	1910 - 1922
Cambridge Historical Journal	Vol. 1 (1923) - 13 (1957)
Scottish Journal of Political Economy	Vol. 1 (1954) - 14 (1967)
Archiv des Völkerrechts	Vol. 1 (1948) - 13 (1967)
Vierteljahrschrift für Sozial und Wirtschaftsgeschichte	Vol. 1 (1903) - 38 (1949)
Zeitschrift für Zivilprozess	Vol. 1 (1979) - 39 (1909)
Economic Journal	Vol. 68 (1958) - 73 (1963)

< ニュース >

図書館委員会

44. 12. 16 (議題) ①一般図書の選定方法の改定について ②研究者に対するサービス向上 ③予算の追加申請案

職員会

44. 12. 23 ①年末年始休館中の警備 ②整理業務促進のための残業について

司書会

44. 12. 10 総記関係図書の選択
45. 1. 14 ①文部省の図書調査について ③舟橋文庫の整理計画案
45. 1. 19 ①図書館報編集案 ②後期試験の奉仕体制
45. 1. 20 総記関係図書の選択

研修・出張

○福岡地区研究会(会場福岡女学院短大)

45. 1. 21 「学生と図書館との関係」(伊藤課長補佐出席)

卒業生の図書館利用について

本学の卒業生は、一定の手続きを経て、図書館を利用することができます。実社会に出てからも、職務上の研究や調査などに図書館を利用する必要は屢々生じますし、また自己の教養・知識の充実向上のためにも、図書館の利用は欠くことのできない手段です。世は正に情報時代。卒業されてからも、どうか図書館を活用されて、この情報時代に対処していかれるよう望みます。

▶卒業生の利用手続

- ① 利用希望者は、特別利用者規則の定めるところにしたがって、次に掲げるものを提出しなければなりません。

特別利用許可願 1通

卒業証明書または勤務先証明書 1通

上半身名刺型写真 1葉

手続料金 100円(1か月)

- ② 手続を完了すると、特別利用者証(1か月間有効)が交付されます。

- ③ その他は、「学生利用規則」が準用されますから、入館手続・貸出手続・貸出冊数・期間などすべて在学中のものと変わりません。

どうか今後とも十分ご利用ください。

* * 奉仕係より * *

奉仕カウンターには美女がずらりと並んでいるせいか(あるいは後期試験期だからか)連日満席おこわりをせねばならず、せっかくの勉強意欲に水をさすことにならねばいいかと心配しています。そのためか、この頃の



▲ 奉仕カウンター

賑やかさは格別、時にはサロン化の傾向さえみられます。かしましいのは女3人が集ったからかと思えば、このごろではその反対の現象も…。ロッカーも不足のみ、そこで、私

たちは2人一緒で、と嬉しそうにおっしゃるカップルも当節ならではでしょう。なにごとものびのびと屈託ないのはいいけれど、図書の切り取り、図書や傘ロッカーの傘を無断で持ちだすのは困ります。タバコの吸い殻をと

ころかまわず投げ捨てるのも困ります。せっかく、人も羨む自由接架の我等が図書館です。他人のことを思いやる気持も持っていただきたいものです。(品川)

告知板

- 春休長期貸出 2月9日(月)から実施。冊数は3冊以内、期限は卒業予定者は2月末日まで、それ以外の人は4月23日まで。
- 春休中の開館予定
- 2月16日(月)～4月16日(木)の期間は、9時から17時まで開架閲覧室を開きます。学習室は閉室します。ただし、
- 2月24・25日(火・水)入学試験のため閉館
- 3月13日(金)～19日(木)在庫調査のため、開架閲覧室を閉室、その間学習室を開きます。

〔あとがき〕

期末試験も終りに近づき、間もなく春休を迎えようとしている。この号には、学生時代と図書館というテーマで、学生諸君に原稿を公募したが、試験期という時期がわなかったせいか、残念ながら掲載するまでにいたらなかった。今後、このような計画も、できるだけとり入れていきたいと思っているので、学生諸君も奮って投稿していただきたいものである。(伊藤)